

洗面金属排水栓 施工・取扱説明書

安全上の注意

- 施工の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく設置して下さい。
- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

注意 この表示欄は、「取扱いを誤った場合、使用者が損害を負う、または物的損害の発生が想定される可能性」を示しています。

! この表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⊘ この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

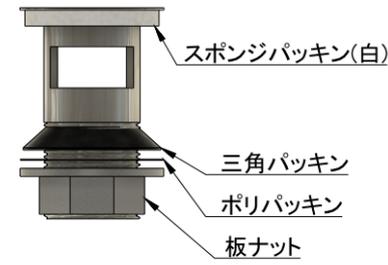
取り付けのご注意

注意

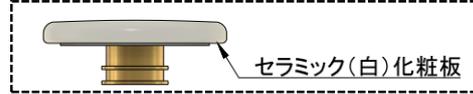
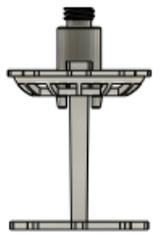
- 施工前に輸送による破損がないか確かめる。
- 施工後に施工による破損がないか確かめる。
※破損部によるケガ、漏水の恐れがあります。
- ⊘ ● ボウルや床に落とさないように注意すること。
※ボウルやフローリングの破損、ケガをする恐れがあります。
- ⊘ ● 板ナットのネジは締めすぎない。(適正締め付けトルク8~10N・m)
※ボウルの破損につながります。ケガや漏水の恐れがあります。
- 施工後に漏水検査を必ず行う。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- 洗剤を使用する場合は、使用后すぐに水を流し、洗剤が残らない様に洗い流すこと。
特に酸性の洗剤はメッキが錆びますので、使用しないこと。
※排水部品を痛める恐れがあります。
※排水栓内部は鋭利になっている箇所がありますので、清掃時は直接手を入れない様にしてください。
- 排水栓の材質上、錆が発生することがあります。
※嵌合物への色移り、干渉がある場合は錆を落としてください。

金属排水栓の部位名称(排水栓品番:HCO-G1)

排水栓(横穴有)



ヘアキャッチャー



陶器品番: KB-PR017-05-G173

* セラミック(白)化粧板は、陶器ボウルの梱包の中にあります。

お手入れ方法

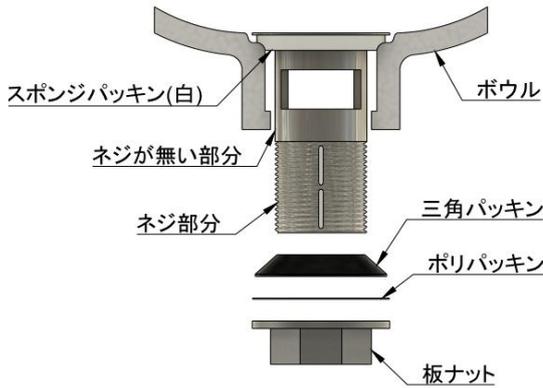
定期的にヘアキャッチャーの掃除をお願いします。目詰まりがあると排水に時間がかかり、流れが悪くなります。

- ①化粧板からヘアキャッチャーを取り外してください。
下段の取り付け手順2を参照してください。
- ②ヘアキャッチャーに目詰まりがないか確認してください。
- ③目詰まり、汚れ等がありましたらブラシ等で掃除してください。
- ④①の逆の手順で取り付けてください。



陶器ボウルへの取り付け手順: 排水栓(横穴有)

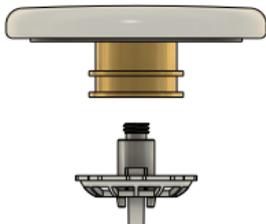
1. 陶器ボウルに排水栓を下記の順に取り付けます



注意事項

- 三角パッキンの向きに注意してください。三角パッキンはボウル接するまで手で挿入してください。
- ⊘ 板ナットのネジは締めすぎないでください。(適正締め付けトルク 8 ~ 10N・m)

2. セラミック(白)化粧板とヘアキャッチャーを接続します
手締めで化粧板にヘアキャッチャー取り付けてください。

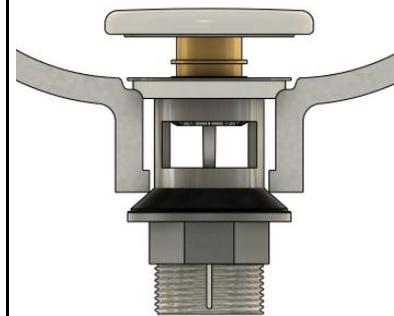


・セラミック(白)化粧板は、陶器ボウルの梱包の中から取り出してください。
陶器品番: KB-PR017-05-G173

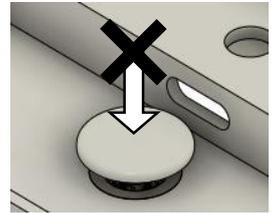
・ヘアキャッチャーを回してねじ込みにて取り付けを行ってください。
この工程は逆の取外しもありますので締めすぎに注意してください。

* 化粧板にはプッシュ式の止水機能はありません。
無理なプッシュはしないでください。

排水栓取り付け完成図

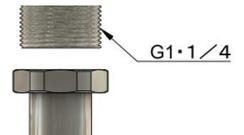


- ⊘ 操作の「禁止」について化粧板を強い力で押し付けしないでください。排水栓に食込む恐れがあります。



3. ストラップ、PTラップ等への接続します

排水栓のネジ寸法は、G11/4です。
ネジに適合したトラップへの接続をお願いします。



4. 施工後の漏水検査のお願い

三角パッキン付近よりの水漏れ確認を下記の手順でお願いします。

- ① ボウル穴の手前まで水を溜めて水漏れがないか。溜めた水に水を足してボウル穴より水を流して水漏れがないか。
- ② 溜めた水を流して配管接続部よりの水漏れがないか。

